

# 電子書籍で標準仕様書

## 改修工事などに旧仕様書も

公共建築協会と豊文堂は14日、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）などを電子化した電子書籍を発行した。同協会の「DIGITAL ARCHIVES（電子書籍閲覧販売システム）」から、インターネットブラウザで閲覧できる。サブスクリプション（月額課金）型と売り切り（閲覧権購入）型を併用してサービス展開する。

数百ページにおよび、携帯（平成16年～31年版、全6冊）が難しい標準仕様書を電子化▽建築工事共通仕様書（平成30年版、全4冊）▽民間（七会）連合協定工事請負（デジタルトランスフォーメーション）推進や、コロナ禍契約約款に適合した工事共通仕様書（令和5年版）――との広がりに対応する。

電子化するのは、▽公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版▽同仕様書

とめて、毎月550円（税込）のサブスクリプションで閲覧できる仕組みにした。旧仕様書を電子化したことで、改修工事などの際に、建築当時の各種規定などを

とめて、毎月550円（税込）のサブスクリプションで閲覧できる仕組みにした。旧仕様書を電子化したことで、改修工事などの際に、建築当時の各種規定などを

日刊建設通信新聞  
2024.2.15付 2面

電子版は、キーワード検索が可能のほか、参照先となる別規定へのジャンプもできる。閲覧は、インターネットブラウザベースの電子書籍リーダーBinB（ビー・イン・ビー）を活用する。パソコンのほか、iPhoneなどのスマートフォンやタブレットにも対応し、現場でも閲覧がしやすい。

### 工事標準仕様書の電子書籍版を発行

公共建築協会ら  
専用サイト開設

公共建築協会（藤田伊織会長）と豊文堂（千葉真茂原市、杉本充代表取締役）は14日、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）／旧建築工事共通仕様書」の電子書籍版を発行すると発表した。同協会が専用サイト「DIGITAL ARCHIVES（電子書籍閲覧販売システム）」を同日に開設した。利便性の向上や技術的理解の促進が狙い。利用者の要望や利用実績などを踏まえ提供内容の

充実を図っていく。

対象は、▽「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（2022年版）▽「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（04～19年版、全6冊）▽「建築工事共通仕様書」（1989～2001年版、全4冊）▽「民間（七会）連合協定工事請負契約約款に適合した工事共通仕様書（23年版）」。

日刊建設工業新聞  
2024.2.15付 2面